慣用句(上級)プリント6

月　日　名前 _____

問1　「腑に落ちない」の意味はどれですか？

1. ひどく驚いて心臓が止まりそうになる
2. 物事の核心を突いて相手を動揺させる
3. 深く感動して涙がこぼれ落ちる
4. 納得がいかず、合点がいかない

問2　「息が詰まる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 上司との面談で緊張して息が詰まる。
2. マスクをきつく締めすぎて息が詰まる。
3. 風邪で喉が腫れて息が詰まる。
4. 水の中に潜りすぎて息が詰まる。

問3　悔しさのあまり、夜中に（　）ぎしりをする。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻
2. 舌
3. 歯
4. 喉

問4　「身を引く」の意味はどれですか？

1. 他人の意見に従って自分の主張を曲げる
2. 地位や立場から退く、または関係を断つ
3. 自分の体を引き寄せて場所を空ける
4. 困難な状況から逃げ出して隠れる

問5　「嵩にかかる」の意味はどれですか？

1. 相手を圧倒するような勢いで強気に出ること
2. 相手の弱みにつけ込んで無理難題を言うこと
3. 自分の地位や権力を利用して威張ること
4. 荷物を積み上げて高い場所へ運ぶこと

問6　「鳴りを潜める」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. にぎやかな音楽を、鳴りを潜めて大きな音で流した。
2. 目覚まし時計が鳴りを潜めて、朝早く大きな音で鳴った。
3. 応援団が鳴りを潜めて、声をからして大声で応援した。
4. いたずら好きの弟も、先生にしかられてからは鳴りを潜めている。

問7　「腰砕け」の意味はどれですか？

1. 相手の意見に同調して態度を変えること
2. 腰を痛めて歩けなくなること
3. 勢いよく始めたことが、途中で弱まってしまうこと
4. 計画が失敗して全てが無駄になること

問8　「尻切れとんぼ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 議論が尻切れとんぼのまま解散してしまった。
2. 尻切れとんぼの虫が庭を飛んでいる。
3. 彼は尻切れとんぼな性格で、いつも最後までやり遂げる。
4. 尻切れとんぼの糸をハサミで切った。

問9　「目端が利く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 目端が利く彼女は、遠くの景色を眺めるのが何よりも好きだ。
2. 彼は目端が利くので、必要な資料を先回りして用意してくれた。
3. 暗い夜道でも目端が利くので、足元の石ころまでよく見える。
4. 彼は目端が利くため、いつも自分のことばかり考えて行動する。

問10　物音を聞き逃さないように（　）を凝らした。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 目
2. 耳
3. 息
4. 鼻

問11　長い下積み生活を経て、ようやく（　）が出た。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 根
2. 葉
3. 花
4. 芽

問12　「猿芝居」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. プロの役者による猿芝居は、非常に見応えがあった。
2. 舞台の上で猿芝居を披露し、拍手喝采を浴びた。
3. 彼らの見え透いた猿芝居には、誰も騙されなかった。
4. 動物園で猿芝居を演じて、観客を大いに喜ばせた。

問13　「歩調を合わせる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. プロジェクトの成功のため、他部署と歩調を合わせる。
2. 遅れを取り戻すために、歩調を合わせて急いで走った。
3. 1人で集中するために、静かに歩調を合わせた。
4. 相手を負かすために、相手と歩調を合わせる。

問14　「骨身に染みる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 骨身に染みるまで、しっかりと薬を塗り込んだ。
2. 今回の失敗で、自分の未熟さが骨身に染みた。
3. 骨身に染みるほど、大声で笑った。
4. 骨身に染みるような、硬いステーキを噛み切った。

問15　「影を落とす（悪い影響や暗い兆しを与える）」という意味で、正しく使っている文はどれですか？

1. 木の下に影を落として涼んでいる。
2. 絵の具を混ぜて画面に影を落とした。
3. テストのためにしっかり影を落として勉強した。
4. 不況が地域の経済に影を落としている。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント6　答え合わせ・解説

問1　答え 4　納得がいかず、合点がいかない
「腑に落ちない」は「納得がいかず、合点がいかない」という意味です。

問2　答え 1　上司との面談で緊張して息が詰まる。
「息が詰まる」の正しい使い方は「上司との面談で緊張して息が詰まる。」です。 意味は「緊張や重苦しい雰囲気で、心理的に圧迫感を感じる」です。

問3　答え 3　歯
正解は「歯」で「歯ぎしり」となります。悔しさや怒りで、どうにもならない気持ちを抑えることを表します。

問4　答え 2　地位や立場から退く、または関係を断つ
「身を引く」は「地位や立場から退く、または関係を断つ」という意味です。

問5　答え 1　相手を圧倒するような勢いで強気に出ること
「嵩にかかる」は「相手を圧倒するような勢いで強気に出ること」という意味です。

問6　答え 4　いたずら好きの弟も、先生にしかられてからは鳴りを潜めている。
「鳴りを潜める」の正しい使い方は「いたずら好きの弟も、先生にしかられてからは鳴りを潜めている。」です。 意味は「物音を立てずに静かにする。また、目立った活動をしないでじっとしている」です。

問7　答え 3　勢いよく始めたことが、途中で弱まってしまうこと
「腰砕け」は「勢いよく始めたことが、途中で弱まってしまうこと」という意味です。

問8　答え 1　議論が尻切れとんぼのまま解散してしまった。
「尻切れとんぼ」の正しい使い方は「議論が尻切れとんぼのまま解散してしまった。」です。 意味は「物事が途中で中途半端に終わってしまうこと」です。

問9　答え 2　彼は目端が利くので、必要な資料を先回りして用意してくれた。
「目端が利く」の正しい使い方は「彼は目端が利くので、必要な資料を先回りして用意してくれた。」です。 意味は「その場の状況や必要を素早く察して、うまく立ち回ることができる」です。

問10　答え 3　息
「息を凝らす」の「息」の部分が入ります。 意味は「呼吸の音さえさせないようにして、神経を集中させる」です。

問11　答え 4　芽
「芽が出る」の「芽」の部分が入ります。 意味は「才能が認められ、成功の兆しが見えること」です。

問12　答え 3　彼らの見え透いた猿芝居には、誰も騙されなかった。
「猿芝居」の正しい使い方は「彼らの見え透いた猿芝居には、誰も騙されなかった。」です。 意味は「見え透いた下手な策略や、わざとらしい振る舞い」です。

問13　答え 1　プロジェクトの成功のため、他部署と歩調を合わせる。
「歩調（ほちょう）を合わせる」は、「他人の行動や考え方に合わせて、自分も行動する（足並みをそろえる）」という意味です。急いで走ったり、相手と戦ったり、1人だけで行動したりするときに使うのは誤りです。

問14　答え 2　今回の失敗で、自分の未熟さが骨身に染みた。
「骨身に染みる（ほねみにしみる）」は、寒さや痛みが体に強く感じられることや、教訓・苦しみ・人の優しさなどが心に深く感じられることを表します。「今回の失敗で、自分の未熟さが骨身に染みた。」が正しい使い方です。

問15　答え 4　不況が地域の経済に影を落としている。
「影を落とす」は「ある事柄が後まで悪い影響や暗い兆しを与える」という意味の慣用句です。「不況が地域の経済に影を落としている」が正しい使い方です。